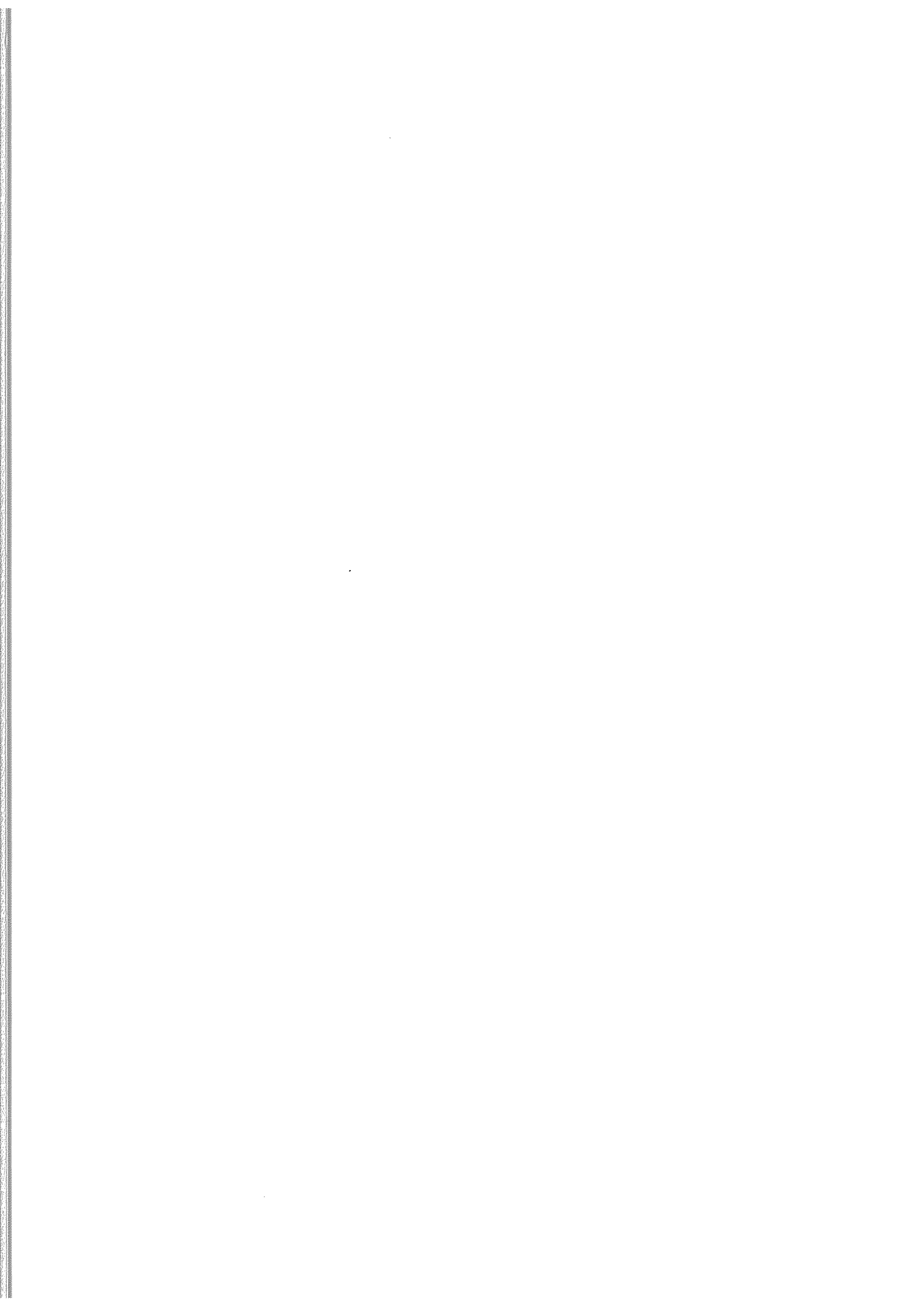


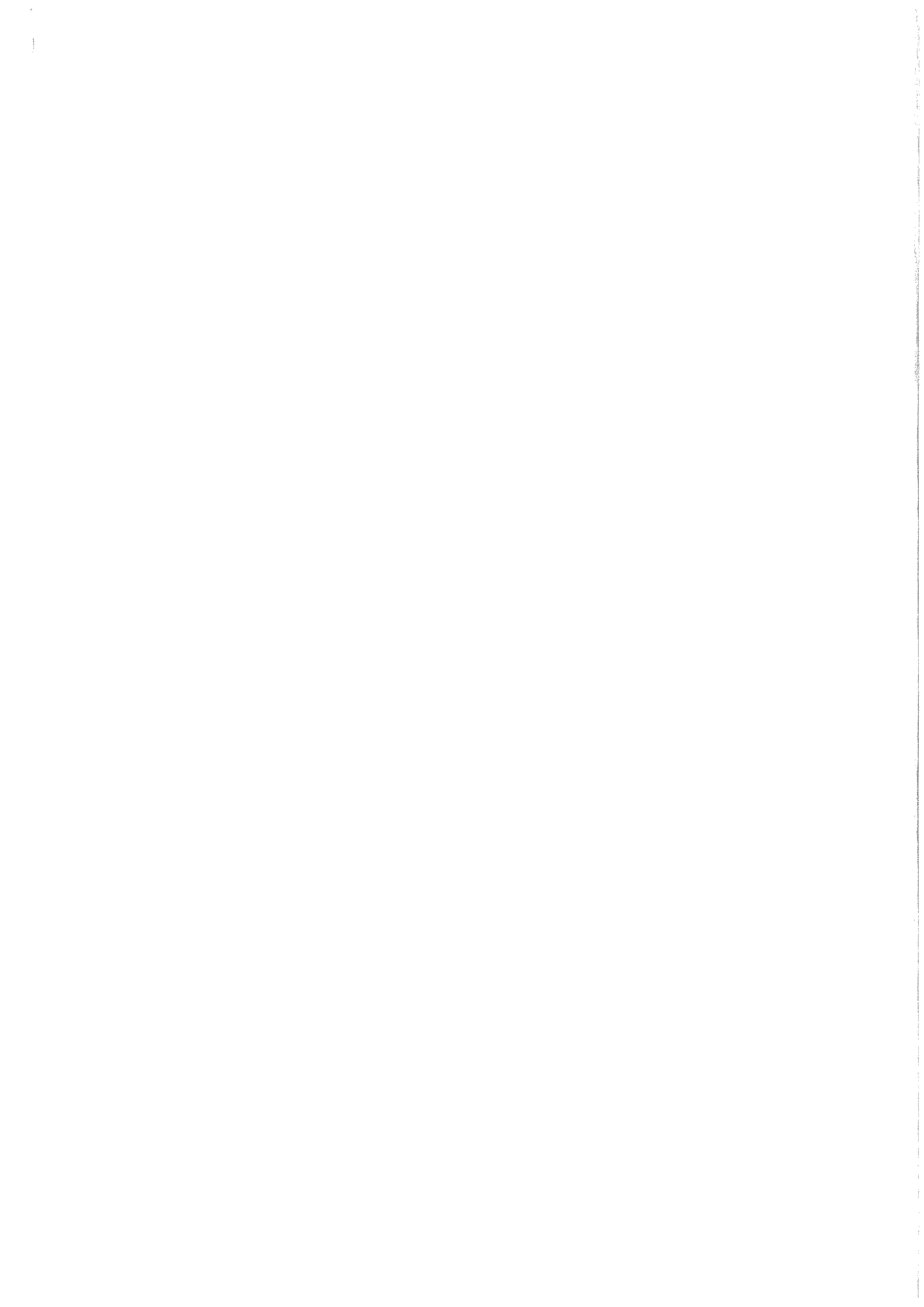
2010／年報

平成22年度

No.18

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館





はじめに

開館以来 18 年目、そして第Ⅱ期指定管理者制度の 2 年目にあたる今年度は、開館当初の設置目的を基本にしながらも、当館をとりまく環境変化をふまえて館経営にあたらせていただきました。環境変化の大きい点は、第一に、全国的な不況の中であって市民による博物館・美術館・資料館の入館目的が厳しく選択されることでもあります。わずかな入館料であっても簡単には入館していただけない状況があります。当館の玄関前においでになっても踵を返される方が目立ってきました。如何に素晴らしい展示をしていても、ポスターを初め諸案内が市民に入館させるような訴える力が問われる時代に入ったとみられます。ポスターや案内チラシの工夫とともに玄関周辺的环境整備にも心がけました。

第二は、小中高等学校の学校団体の入館減少です。大きな原因は、新学習指導要領の本格実施による授業時数の確保が厳しくなったことです。アンケートや一斉調査は行いませんでしたが、これまで来館していただいた学校の先生方いろいろなとお尋ねしますと、総合的な学習の時間も大幅に減少し、社会科の時間を充実させるための校外学習の時間の確保が容易でないとのことでした。また、校外学習のためのバス代等の確保も難しいとのことでした。個別に入館の働きかけを行いました。今年度の学校団体による入館状況はその成果であります。しかし、根本原因を解決しない限り、学校団体の入館減少は食い止めることは容易でないと思われまます。

展示につきましては、山形県の歴史と直結するテーマで全県下に関わる企画展『平安初頭の南出羽―役所とその周辺―』を実施するとともに、関連テーマで考古学セミナーを開催しました。山形県古代史のファンを魅了させ、大勢の固定客を獲得しました。また、県民の要請に応える速報展的な特別テーマ展「発掘おきたま最前線の考古展」を今年度も開催するとともに、置賜地区の歴史ファンの掘り起こしとなる「うきたむ学講座」も継続開催しました。展示や講座等の充実により、古代・中世史に興味関心を持たれる県民および隣県の方々の入館者はむしろ増加傾向にあり、一般入館者の減少を補完しているとみられます。

考古学、あるいは古代・中世史に興味関心を持たれる方々だけでなく、一般入館者や小中高等学校の児童生徒の入館も増加傾向に転ずるように、これまでの工夫に加え、さらなる努力を続けていく所存です。

本書は、当館の一年間の記録であります。その行間には当館の上記のような経営面での努力やご協力賜った諸機関・個人の皆様の真摯なご協力が浸み込んでおります。ぜひ御覧いただき、今後ともご指導を賜りたいと存じます。

末尾になりますが、何かとご協力ご支援を賜りました山形県教育庁文化財保護推進課、財団法人山形県埋蔵文化財センターや各市町村教育委員会等の諸機関、東北芸術工科大学、山形大学、米沢女子短期大学および山形考古学会、うきたむ考古の会、歴史公園管理組合、研究者の皆様に深く感謝申し上げます。

平成 23 年 3 月 31 日

館 長 佐 藤 鎮 雄

目 次

1. 施設の概要	1
2. 開館後のあゆみ	2
3. 展示の概要	5
(1) 常設展示及びテーマ展示	
(2) 第18回企画展	
4. 教育普及活動	7
(1) 記念講演会	
(2) 体験教室	
(3) 遺跡研修	
(4) 第12期「考古学セミナー」	
(5) 考古資料検討会	
(6) 第V期うきたむ学講座	
(7) 学校教育との連携	
(8) 学芸員実習	
5. 資料の活用	10
(1) 資料貸出	
(2) 写真利用	
(3) 資料館資料の特別利用	
(4) 刊行物一覧	
6. 入館状況	11
(1) 月別入館者一覧表	
(2) 主な入館団体一覧	
(3) 来観者アンケート	
7. 管理及び運営	12
(1) 組織・職員	
(2) 運営協議会	
8. 受贈図書	13
9. 利用案内	19
10. 条例規則	22

1. 施設概要

(1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

(2) 沿革

昭和51年度	第6次山形県総合開発計画及び第2次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示
昭和56年度	風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告
昭和60年度	第7次山形県総合開発計画及び第3次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け
昭和61年度	風土記の丘基本構想・計画を作成
平成2年度	考古資料館の基本・実施設計を作成
平成3年度	高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工
平成4年度	考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工、名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定
平成5年度	考古資料館開館 4月23日

(3) 施設

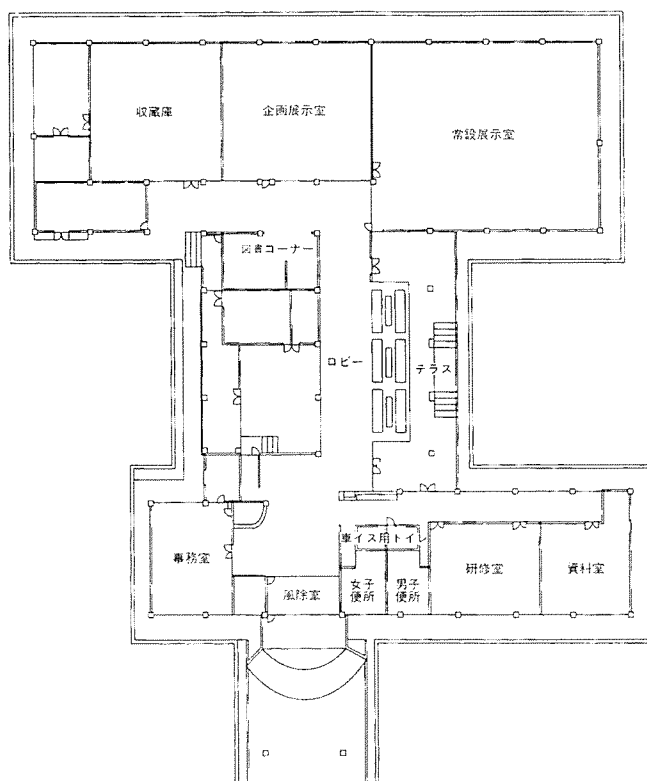
① 構造・規模

鉄筋コンクリート造平屋建

敷地面積： 7,000m²

延床面積：1,358.24m²

常設展示室	279.00m ²
企画展示室	129.37m ²
収蔵庫(2層)	129.37m ²
研修室	125.70m ²
事務室	67.50m ²
作業室・荷解室	51.75m ²
ロビー・ホール	336.85m ²
その他(機械室等)	238.70m ²



[山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図]

2. 開館後のあゆみ

- 平成5年度 開館記念行事・記念講演「考古資料館に期待すること」 文化庁 田中 琢氏
第1回特別展「縄文の四季」
シンポジウム「祈りとたたかいの中世」
第1回収藏品展「押出遺跡とその周辺」
第1回企画展「古墳と人々の暮らし」
講演会「末期古墳がつくられたころ」 福島大学 工藤雅樹氏
第2回収藏品展「最近発掘された置賜の遺跡から」
- 平成6年度 第2回企画展「一ノ坂遺跡と巨大住居」
講演会「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」 秋田埋文センター 富樫泰時氏
第3回収藏品展「平地と山地の縄文遺跡」
第1期やさしい考古学入門講座
「縄文時代の人々と文化」 日本考古学協会会員 佐藤鎮雄氏 他10回
第3回企画展「発掘された中世ーまじないと祈りの世界ー」
講演会「中尊寺金色堂の視線」 東北大学 入間田宣夫氏
第4回収藏品展「古代の村と暮らし」
- 平成7年度 開館3周年記念特別展「よみがえる縄文文化」
講演会「三内丸山遺跡と東北の縄文文化」 青森県教育委員会 岡田康博氏
第5回収藏品展「高島の古墳時代」
第2期やさしい考古学入門講座「日本のやきものの流れ」
「縄文草創期・早期」 山形埋文センター 佐々木洋治氏 他10回
うきたむ考古の会設立 東北中世考古学会設立
第4回企画展「やまがた古代の役所」
味噌根窯跡の発掘調査（～12月上旬）
講演会「古代出羽の役所」 酒田市教育委員会 小野 忍氏
第6回収藏品展「置賜のやきものの移りかわり」
- 平成8年度 第5回企画展「古代の窯業遺跡」
講演会「古代の窯業遺跡」 国立歴史民俗博物館教授 吉岡康暢氏
第3期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅠ」
「弥生時代の遺跡を掘る」 山形埋文センター 佐藤庄一氏 他10回
第7回収藏品展「縄文の四季」
第3回特別展「縄文のタイムカプセル押出遺跡展」
講演会「縄文文化と現代」 国立歴史民俗博物館 佐原 真氏
第8回収藏品展「土器のうつりかわり」
- 平成9年度 第6回企画展「縄文の花開いて～一ノ坂・台ノ上遺跡～」
テーマ展「考古資料からみた古代・中世」（企画展期間を除く）
講演会「古代出羽の都」 酒田市中央高校 佐藤禎宏氏
講演会「縄文文化の魅力」 國學院大学 小林達雄氏
第4期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅡ」
「大型住居跡を掘る」 米沢市教育委員会 手塚 孝氏 他5回
- 平成10年度 第7回企画展「やまがたの弥生文化ー水田稲作の始まりー」
テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
考古学入門講座「中世の考古学」

「奥羽の中世世界」 山形大学 伊藤清郎氏 他5回
講演会「東北の弥生文化―その成立と展開―」 東北大学 須藤 隆氏

平成11年度

第8回企画展「やまがたの古墳とその時代」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「やまがたの古墳とその時代」
「古墳時代の集落」 山形県立博物館 阿部明彦氏 他5回
講演会「日本の中の山形の古墳」 明治大学 大塚初重氏
置賜地区遺跡発掘調査報告会

平成12年度

第9回企画展「縄文時代・最後の世界」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「奈良・平安の考古学」
「飛鳥時代の東北」 福島県教育委員会 木本元治氏 他5回
講演会「縄文文化の最後の世界～東北・北陸の縄文晩期の文化」
明治大学 石川日出志氏
2000年山形の発掘〈調査検討会〉

平成13年度

第10回企画展「発掘された山形の城館跡」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「城館跡の考古学」
「城館跡を歩き楽しむ」 中世城郭研究会 横山勝栄氏 他5回
講演会「奥羽における城館跡」 山形大学 伊藤清郎氏
2001年山形の発掘〈調査検討会〉

平成14年度

第4回特別展「やまがたの縄文土器」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「やまがたの縄文土器」
「縄文土器の出現と展開」 山形県教育庁 渋谷孝雄氏 他5回
講演会「やまがたの縄文土器」
國學院大学 小林達雄氏、東京都教育委員会 安孫子昭二氏
2002年置賜の発掘〈調査検討会〉

平成15年度

第11回企画展「古代長者の世界～古志田東遺跡展」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「平安時代の歴史と考古」
「平泉と出羽」 山形県立米沢女子短期大学 吉田 歆氏 他5回
講演会「古代長者の世界～古志田東遺跡」
山形大学 三上喜孝氏、米沢市教育委員会 手塚 孝氏
2003年置賜の発掘〈調査検討会〉

平成16年度

第12回企画展「埋められた経こめられた願い やまがたの経塚」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「信仰の歴史と考古」
「中世出羽の宗教と民衆」 山形大学 伊藤清郎氏 他5回
講演会「東日本の経塚と地域性」 国立歴史民俗博物館 村木二郎氏
「やまがたの経塚」 当館館長 川崎利夫
2004年置賜の発掘〈調査検討会〉

平成17年度

第13回企画展「古墳ができたころ 山形盆地の集落跡を中心に」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)

考古学セミナー「古墳出現期の考古学」
「古墳時代前期とはどんな時代か」 山形県教育庁 尾形與典氏 他5回
講演会「土器からみる古墳出現期の地域間交流」 東北学院大学 辻 秀人氏
2005年置賜の発掘〈調査検討会〉

平成18年度 第14回企画展「旧石器から日向へー大きく変わった環境と文化ー」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「旧石器・中石器の考古学」
「ナイフ形石器を使う人々」(財)山形県埋蔵文化財センター 渋谷孝雄氏 他5回
講演会「日向洞窟の石器が語る環境と文化の大激変ー旧石器から縄文へー」
東北学院大学 佐川正敏氏
2006年置賜の発掘〈調査検討会〉
第Ⅰ期うきたむ学講座 米沢女子短期大学 吉田欽氏他 全3回

平成19年度 第15回企画展「縄文の至宝 押出遺跡」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「縄文時代前期の考古学ー押出遺跡にみる縄文人のくらしー」
「縄文の至宝 押出遺跡」 山形県教育庁文化財保護室 渋谷孝雄氏 他5回
講演会「押出遺跡の世界」 山形県教育庁文化財保護室 佐藤庄一氏
2007年置賜の発掘〈調査検討会〉
第Ⅱ期うきたむ講座 山形大学人文学部 三上喜孝氏他 全3回

平成20年度 第16回企画展「出羽国ができるころ」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展・特別テーマ展期間を除く)
特別テーマ展「発掘おきたま最前線の考古展ー蘇る原始・古代の置賜象ー」
展示:(財)山形県埋蔵文化財センター
考古学セミナー「飛鳥・奈良時代のやまがた」
「置賜における古代窯業の開始」 東北芸術工科大学 北野博司氏他
講演会「出羽国ができるころ」 当館名誉館長 川崎利夫氏
2008年山形の考古資料検討会
第Ⅲ期うきたむ学講座 米沢女子短期大学 吉田欽氏他 全3回

平成21年度 第17回企画展「じょうもん天地人ーやまがた前期縄文人のたたかいー」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展・特別テーマ展期間を除く)
特別テーマ展「発掘置賜最前線の考古展ー蘇る中世・近世の置賜像ー」
展示:(財)山形県埋蔵文化財センター
考古学セミナー「やまがたの縄文時代前期を考える」
講演会「じょうもん天地人」 東北芸術工科大学 安斎正人氏
2009年山形の考古資料検討会
第Ⅳ期うきたむ学講座 上杉博物館 阿部哲人氏他 全3回

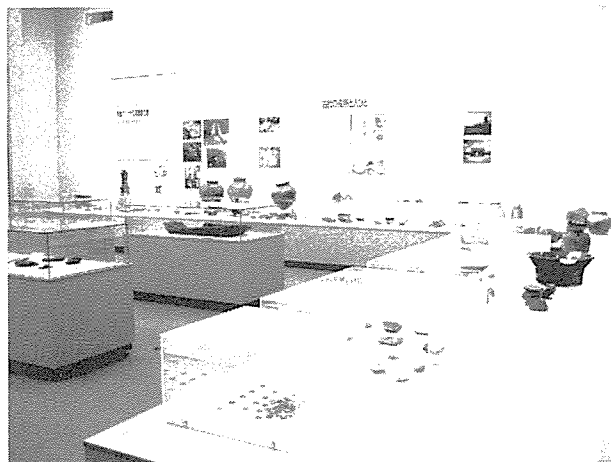
平成22年度 第18回企画展「平安初頭の南出羽ー役所とその周辺ー」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展・特別テーマ展期間を除く)
特別テーマ展「発掘置賜最前線の考古展3ー解明される置賜像ー」
展示:(財)山形県埋蔵文化財センター
考古学セミナー「平安初頭における南出羽の考古学」
講演会「南出羽における平安時代初頭の官衙とその周辺」
山形考古学会副会長 佐藤庄一氏
2010年山形の考古資料検討会
第Ⅴ期うきたむ学講座

3. 展示の概要

(1) 常設展示及びテーマ展示

ロビーでは常設展示「置賜のあけぼの」、常設展示室は、「大谷地をかこむ遺跡」「縄文時代のタイムカプセル」「古墳をつくる人々」の三部構成で、主として置賜を中心とした原始・古代の資料を紹介しながら、地域の歴史を解説している。常設展示室入口より、日向洞窟をはじめとする縄文時代草創期の洞窟遺跡を紹介、次に縄文時代前期の低湿地遺跡で縄文クッキーをはじめ数々の木製品、彩漆土器などが出土した押出遺跡を大きく取り上げている。展示室中央には押出遺跡から見つかった住居跡の復元展示を見ることができる。そのほか豪壮な縄文中期の土器や、後期・晩期の繊細な土器を土偶や石器とともに展示。そのあとに続く弥生時代の展示では石包丁、古墳時代の展示では、資料館のすぐそばにある安久津古墳をはじめ、置賜地域に広く分布する古墳の様子を、写真パネルを用いて解説している。

企画展示室では企画展期間を除き、主としてテーマ展「古代・中世の考古資料」を行っている。古墳時代以後の考古遺物、6世紀から江戸時代までの器や信仰遺物や、奈良・平安時代の文字資料・硯などを展示している。そのほか、他機関の協力によりミニ企画展や、特別テーマ展「発掘おきたま最前線の考古展3—解明される置賜の歴史像」を開催した。



(2) 第18回企画展

- テーマ 「平安初頭の南出羽―役所とその周辺―」
- 開催期間 2010年10月1日(金)～11月30日(火)

平安時代初頭の役所をテーマに、山形県域から出土した官衙関連資料を展示。城輪柵跡出土の瓦や須恵器、各地域から出土した墨書土器、木簡など多彩な展示となった。

パネルにて展示を解説し、さらに展示解説シートを用意して展示内容を分かりやすく伝えた。



4. 教育普及活動

(1) 第18回企画展記念講演会

11月14日(日) 受講者 44名

基調講演

「平安時代初頭の南出羽一官衛とその周辺―」

山形考古学会副会長 佐藤 庄一 氏

平安初頭の南出羽の様子を官衛関連遺跡を通して、解説いただいた。

講演会&ギャラリートーク

10月9日(土) 講演 米沢女子短期大学教授

吉田 徹 氏

10月23日(土) 講演 山形大学准教授 三上 喜孝 氏

11月3日(祝) ギャラリートーク 当館館長 佐藤 鎮雄 氏



(2) 体験教室

① 勾玉・弓矢をつくろう

5月22日(土)・8月14日(土)・11月3日(祝) 122名参加

資料館の展示を見学のあと、滑石を使って勾玉、竹を使って弓矢を作った。

② ガラス玉をつくろう

6月19日(土)・12月11日(土) 28名参加

ガラスをとかし、芯棒に巻きつける方法で、古墳などから出土するガラス玉を作った。

③ 縄文土器をつくろう―野焼きのための焼物教室

形づくり 8月7日(土) 8名参加

野焼き 10月10日(日)

④ 石器をつくろう

5月22日(土)・8月14日(土)・11月3日(祝)

19名参加

頁岩や黒曜石を鹿の角を使って割り、石器作り体験を行った。

⑤ 編布(あんぎん)をつくろう

8月14日(土) 2名参加

⑥ 赤ちゃん手形づくり

5月1日より5月5日まで 手形数600個

縄文時代の遺跡から出土した子供の手形土製品を、親子で楽しんで再現することを目的に実施し、今年度は10年目の節目となった。過去最高だった昨年度をさらに上回る参加があり、人気の事業といえる。



(3) 遺跡研修

①春の遺跡めぐり

5月30日(日) 参加者28名

尾花沢市・最上町方面(尾花沢市芭蕉清風歴史資料館・兵沢遺跡・延沢城跡・封人の家・分水嶺・小国城跡など)

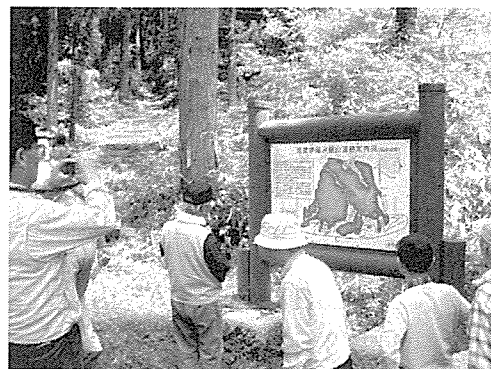
尾花沢市では大類誠氏より、最上町では地域解説ボランティアの方や最上町教育委員会の方などより、解説をいただいた。

②秋の遺跡めぐり

9月19日(日) 参加19名

飯豊町・小国町方面(宇津峠・片洞門・黒沢峠・お役屋跡・小国城跡・県社山・叶水遺跡と横川ダム(きてくる館)・飛泉寺跡)

飯豊町では井上俊雄氏、小国町では渡部真治氏より解説をいただいた。



③遺跡の旅

6月26・27日(土・日) 参加22名

うきたむ考古の会と共催

岩手県方面(平安の岩手路をめぐる旅)

厨川柵跡・志波城史跡公園・岩手県立博物館ほか

(4) 第12期「考古学セミナー」

企画展の内容に合わせて、「平安初頭における南出羽の考古学」をテーマとして開催、学習した。平安初頭の南出羽(山形県域)の様子を官衙関連遺跡から見ていった。最新の考古学資料をもとに、県内の最前線で研究している講師により講義を行った。

受講者延べ173名

- 第1回 7月18日 「平安初頭の出羽国と南出羽の概況」 当館館長 佐藤 鎮雄氏
「南出羽における平安初頭の土師器・赤焼土器・灰釉陶器」

財団法人山形県埋蔵文化財センター 阿部 明彦氏

- 第2回 7月25日 「平安の出羽国府・城輪柵跡と八森遺跡」
酒田市教育委員会 小野 忍氏
「南出羽における平安初頭の須恵器・瓦と古代窯業」

財団法人山形県埋蔵文化財センター 伊藤 邦弘氏

- 第3回 8月1日 「平安初頭における最上郡・村山郡の官衙とその周辺」
財団法人山形県埋蔵文化財センター 阿部 明彦氏
「南出羽における平安初頭の東山道駅路と駒籠楯遺跡」

県文化財保護推進課 竹田 純子氏

- 第4回 8月8日 「南出羽における出羽郡・田川郡・飽海郡の官衙とその周辺」
山形考古学会副会長 佐藤 庄一氏

- 第5回 8月22日 「平安初頭における置賜郡の官衙とその周辺」
当館館長 佐藤 鎮雄氏
「平安初頭における宗教関連遺跡と仏教の伝播」

財団法人山形県埋蔵文化財センター 須賀井新人氏

(5) 考古資料検討会

2010年度山形の考古資料検討会

2月20日(日) 51名参加

基調報告「2010年度山形県の発掘調査概要」

報告遺跡 ・ 西谷地B遺跡・馳上遺跡・作野遺跡・戸塚山古墳群

(6) 第V期うきたむ学講座

今年度で5年目となる。うきたむ学講座実行委員会と共催。

日頃は市町村、地区単位で歴史探究や啓蒙活動を行っている方々に、今年度は「戦国期から近世へ」をテーマにそれぞれの地域との関わりを講演いただいた。

受講者延べ219名

●第1回 1月23日(日)

「平子文書からみる戦国期の一つの「断面」」

置賜史談会 渋谷 敏己 氏

「上杉家臣団の形成—戦国から近世へ—」

米沢市上杉博物館 角屋由美子 氏

●第2回 2月6日(日)

「米沢藩の鉄砲導入と砲術師・丸田九左衛門 付、米沢藩の砲術流派と砲術訓練の実態」

米沢市教育委員会 青木 昭博 氏

●第3回 3月6日(日)

「川西町玉庭地区の鮎川党について—越後から置賜へ—」置賜民俗学会 渡邊 敏和 氏

「前田慶次道中日記」

米沢女子短期大学 蘭部 寿樹 氏

(7) 学校教育との連携

今年度も、学校等の団体で入館を希望する場合に、来館の目的・展示説明や体験学習の有無・利用に際しての希望などを指示していただく「利用打ち合わせ書」の提出を依頼している。また、利用後の「利用評価表」の記入も引き続き依頼し、その評価から改善点などを参考にしている。

多くの学校が、資料館と歴史公園・近隣史跡の見学を組み合わせて利用している。また、体験学習(勾玉づくり・弓矢づくり・編布づくり・火起し・縄文服試着等)を行い、昔の物作りを学習する機会が多い。

社会科学習や、親子行事での利用での利用が大半を占めた。広報と学習内容を検討し、さらに地域教育に根ざした資料館を目指したい。



(8) 学芸員実習

8月5～11日

今年度は米沢女子短期大学の学生1名と宮城学院女子大学の学生1名のあわせて2名を受け入れた。

実習内容：体験学習補助など

5. 資料の活用

(1) 資料貸出

遺跡名	資料名	利用の理由	申請者	資料活用期間	備考
押出遺跡	炭化食品	展示	横浜市歴史博物館	平成22年3月28日～ 平成22年5月30日	
押出遺跡	彩漆土器レプリカ	展示	財団法人福島県文化 振興事業団	平成22年6月15日～9月3日	
押出遺跡	彩漆土器レプリカ	展示	福島県立博物館	平成22年9月30日～12月15日	
押出遺跡	彩漆土器・深鉢形土器・ 石器等	展示	奈良国立博物館	平成22年12月11日～ 平成23年2月22日	

(2) 写真利用

利用資料	利用目的(印刷物等の名称)	利用者(発行者)	発行日など	部数
押出遺跡彩漆土器	『新・古代史検証(1)』「弥生の再発見 見 邪馬台国誕生」	石野博信 著 (株式会社 文英堂)	平成22年4月	4,000
押出遺跡彩漆土器・ 石器等	特別展用パネル・図録	和歌山市立博物館	平成22年5月19日	
押出遺跡彩漆土器	『考古学の挑戦―地中に問いかける 歴史学』「漆のふしぎとジャパン」	宮腰哲雄 著 (株式会社 岩波書店)	平成22年6月	8,500
押出遺跡彩漆土器	パネル	株式会社 虎屋	平成22年6月8日	
押出遺跡彩漆土器	特別展図録	大田区立郷土博物館	平成22年6月30日	1,800
押出遺跡彩漆土器	会報	特定非営利活動法人 三内丸 山縄文発信の会	平成22年7月20日	2,000
押出遺跡彩漆土器	展示図録・パネル	福島県立博物館	平成22年8月10日	
押出遺跡彩漆土器	特別展パネル	若狭三方縄文博物館	平成22年9月12日	
押出遺跡彩漆土器・ 石器等	特別展パネル	奈良国立博物館	平成22年12月11日	
押出遺跡彩漆土器	山形新聞「ふるさとの文化財」	山形新聞	平成22年12月8日	
押出遺跡炭化食品	『日本氏へのいざない2ー考えなが ら学ぼうー』「おそるべし! 縄文人 の知恵」	松本一夫 著 (岩田書院)	平成23年2月4日	
押出遺跡彩漆土器・ 石器等	パネル	八戸市教育委員会 是川縄文 館開館準備室	平成23年2月25日	

(3) 資料館資料の特別利用

利用日時	利用資料	利用目的	利用者
平成22年10月5日	押出遺跡炭化食品	取材	日本テレビ情報エンターテイメント局

(4) 刊行物一覧

平成22年4月1日から平成23年3月31日までの刊行状況は下記のとおりである。

書名	発行日
館報うきたむ35号	平成22年7月1日
第18回企画展図録兼概説書「平安初頭の南出羽考古学―官衙とその周辺―」	平成22年10月1日
館報うきたむ36号	平成23年1月20日
2010年報	平成23年3月31日

6. 入館状況

(1) 平成22年度 月別入館者一覧表

月別	有料入館者数							無料入館者数			合計
	個人		団体		減免者数			高校生以下	視察その他		
	一般	大学生	一般	大学生	一般	大学生	高校生以下		一般	大学生	
4月	73	0	0	0	6	44	74	77	57	0	331
5月	155	4	24	0	33	0	322	1,153	1,343	0	3,034
6月	89	1	20	0	50	0	139	68	125	0	492
7月	82	0	0	0	60	0	79	44	185	0	450
8月	152	6	66	0	68	0	112	96	153	0	653
9月	61	12	73	0	36	0	179	180	311	1	853
10月	124	10	192	0	23	0	281	50	72	0	752
11月	193	2	46	0	67	0	22	34	88	0	452
12月	21	0	0	0	2	0	0	26	120	0	169
1月	8	2	50	0	0	0	0	2	55	0	117
2月	27	0	60	0	0	0	0	3	180	0	270
3月	4	0	53	0	0	0	0	0	99	0	156
合計	989	37	584	0	345	44	1,208	1,733	2,788	1	7,729

(2) 主な入館団体

- 〈小学校〉
- ・高島町立屋代小学校、高島小学校、和田小学校、糠野目小学校
 - ・米沢市立三沢西部小学校、窪田小学校、南原小学校、関根小学校、上郷小学校、松川小学校、西部小学校
 - ・川西町立吉島小学校
 - ・飯豊町立第一小学校、手ノ子小学校
 - ・鶴岡市立朝陽第一小学校
 - ・酒田市立琢成小学校
- 〈中学校〉
- ・米沢市立第三中学校
- 〈高校他〉
- ・県立米沢商業高等学校、長井高等学校、村山特別支援学校
 - ・神奈川総合高校
- 〈公民館〉
- ・和田地区公民館寿大学

(3) 入館者アンケート

- ・古墳時代の展示が分かり易くて大変良いと思いました。復元模型等があると更に充実すると思う。

〈体験学習等の参加者から〉

赤ちゃん手形づくり

- ・5歳のお兄ちゃんも0歳時に作っていただき、今も大事にしています。(置賜地方・女性)
- ・このようなイベントで思い出の品を作れるのは大変有難いです。(東京都・女性)
- ・毎年来ている。子供の手が毎年大きくなっているのを見て嬉しく思う。(置賜地方・女性)

勾玉・弓矢づくり

- ・弓の先の方をけずるのがむずかしかったが、完成してたらとても嬉しかった。(小6年生男子)
- ・集中して取り組んでいた。自分で片付けさせるのは良いことだと思った。(置賜地方・女性)

親子でガラス玉づくり

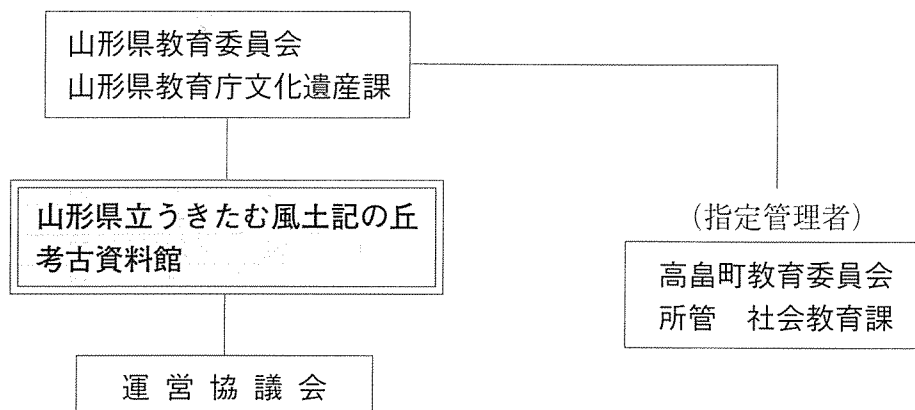
- ・形をととのえるのがむずかしかったけど楽しかったです。(小学4年生女子)
- ・ガラス玉は初めてでしたがとても楽しかったです。結構夢中で作りました。(村山地方・女性)

石器づくり

- ・楽しかったし、達成感がありました。(小学6年生男子)
- ・とても楽しかったです。丁寧に教えていただきありがとうございました。(置賜地方・男性)

7. 管理及び運営

(1) 組織・職員



運営協議会

[本館運営協議会委員名簿]

氏名	備考
村野 隆 男	米沢市教育委員会文化課長
小笠原 正 道	財団法人山形県埋蔵文化財センター事務局長
青 木 敏 雄	川西町立中郡小学校校長
村 田 武	元高島地区公民館館長 高島町文化財保護委員
吉 野 智 雄	県文化財保護指導員
高 梨 善三郎	うきたむ考古の会副会長

委員長 吉野智雄

(2) 運営協議会

第1回 開催期日 11月16日(火)

本館研修室

会議内容

- ①平成21年度考古資料館事業報告
- ②平成22年度考古資料館事業状況報告
- ③その他

第2回 開催期日 3月2日(水)

本館研修室

会議内容

- ①平成23年度考古資料館事業報告
- ②平成24年度考古資料館事業計画
- ③その他

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 職員

職名	氏名	備考
館長	佐藤 鎮雄	非常勤
館長代理	井田 秀和	高島町職員
学芸員	森谷 幸	嘱託
職員	小関 利恵	嘱託
職員	福崎 稔	嘱託
職員	秦 昭繁	嘱託

8. 受 贈 図 書

年 報

名 称	発 行 者
浦幌町立博物館年報 第10号	浦幌町立博物館
館報 第7号	苫小牧市博物館
特別史跡 三内丸山遺跡年報13	青森県教育委員会
青森県立郷土館報 平成22年度版(通巻37号)	青森県立郷土館
平泉文化研究年報 第10号	岩手県教育委員会
岩手県立博物館年報 平成21年度	岩手県文化振興事業団・岩手県立博物館
北上市埋蔵文化財年報 1990・2007・2008年度	北上市埋蔵文化財センター
秋田県立博物館年報 平成22年	秋田県立博物館
秋田県埋蔵文化財センター年報28	秋田県埋蔵文化財センター
秋田城跡 秋田城跡調査事務所年報2009	秋田市教育委員会・秋田城跡調査事務所
東北歴史博物館 平成21年度年報	東北歴史博物館
多賀城跡 宮城県多賀城跡調査研究所年報2009	宮城県多賀城跡調査研究所
地底の森ミュージアム・縄文の森広場年報2010	仙台市教育委員会・仙台市市民文化事業団・仙台市富沢遺跡保存館
年報 平成21年度	山形県埋蔵文化財センター
山形市埋蔵文化財調査年報 平成20年度	山形市教育委員会
米沢市文化財年報 No22	米沢市教育委員会
米沢市上杉博物館年報 VOL. 21・22	米沢市上杉博物館
天童市西沼田遺跡公園 要覧・年報2009	天童市西沼田遺跡公園
福島県文化財センター白河館年報2008・2009	福島県文化財センター白河館
東京都埋蔵文化財センター年報30	東京都埋蔵文化財センター
国立歴史民俗博物館年報 5	国立歴史民俗博物館
松戸市立博物館年報 第17号	松戸市立博物館
成田山文化財団年報 第1号	財)成田山文化財団
館報 第5号	埼玉県立さきたま史跡の博物館
栃木県立なす風土記の丘資料館年報 第18号	栃木県立なす風土記の丘資料館風土記の資料館
栃木県立しもつけ風土記の丘資料館年報第24号	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
埋蔵文化財センター年報 第20号	財)とちぎ生涯学習文化財団 埋蔵文化財センター
土浦市立博物館年報 第22号	土浦市立博物館
小美玉市史料館報 Vol. 4	小美玉市玉里史料館
財)群馬県埋蔵文化財調査事業団年報29	群馬県埋蔵文化財調査事業団
新潟県立歴史博物館年報 第8号	新潟県立歴史博物館
新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 平成21年度	新潟県埋蔵文化財調査事業団
富山県 [立山博物館] 年報 第19号	富山県 [立山博物館]
金沢城調査研究所年報3 平成21年度	石川県金沢城調査研究所
長野県立歴史館年報 第12号	長野県立歴史館
岐阜県博物館報 第33号	岐阜県博物館
館報 平成21年度	福井県立若狭歴史民俗資料館
年報 平成21年度	滋賀県立安土城考古博物館
財)京都市埋蔵文化財研究所年報 平成19年度	財)京都市埋蔵文化財研究所
大阪府立近つ飛鳥博物館 館報13	大阪府立近つ飛鳥博物館
紀伊風土記の丘年報 第36・37号	和歌山県立紀伊風土記の丘
青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報2009	鳥取県埋蔵文化財センター
下関市立考古博物館年報15	下関市立考古博物館
大分県立歴史博物館年報2009	大分県立歴史博物館

宮崎県立西都原考古博物館年報 2009年度	宮崎県立西都原考古博物館
宮崎県総合博物館年報 No.39	宮崎県総合博物館
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2007・2008	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査年報19・21・23・24	東北大学埋蔵文化財調査室
東北学院大学博物館年報 2009年度（創刊号）	東北学院大学博物館
山形大学付属博物館報35・36	山形大学付属博物館
明治大学博物館年報 2008・2009年度	明治大学学術・社会連携部博物館事務室
同志社大学歴史資料館 館報 第13号	同志社大学歴史資料館
九州産業大学美術館年度報告書 平成20・21年度	九州産業大学美術館

図 録

名 称	発 行 者
アイヌー美を求める心	財)アイヌ文化振興・研究推進機構
妖怪展 神・もののけ・祈り	青森県立郷土館
青森のわざ	青森県立郷土館
いわての漆	岩手県立博物館
もりおかで焼かれた“やきもの”	盛岡市遺跡の学び館
光芒の再生ー赤羽刀のきらめきー	一関市博物館
境界に生きた人々～遺物でたどる北東北のあゆみ～	秋田県立博物館・岩手県立博物館・青森県立郷土館
絵画にみる江戸時代のみやぎ	東北歴史博物館
多賀城・太宰府と古代の都	東北歴史博物館
洞穴遺跡の考古学	仙台市教育委員会・仙台市富沢遺跡保存館
山形の宝物～山形県内博物館・美術館所蔵品による	文化庁・山形県文化芸術振興プラン実行委員会
三島通庸と洋風学舎	山形県立博物館
縄文のキセキー半世紀の時を越えてー	山形県立博物館
図説 直江兼続 人と時代	米沢上杉文化振興財団・米沢市上杉博物館
戦国大名とナンバー2	米沢市上杉博物館
上杉家家臣団	米沢市上杉博物館
調理の考古学ー煮る器・蒸す器ー	山形県長井市教育委員会
漆のチカラー漆文化の歴史と漆表現の現在ー	福島県立博物館
ふくしまの土偶	福島県文化財センター白河館
ふくしま森林文化企画展図録	ふくしま森林文化企画展実行委員会
アメリカに渡った日本人と戦争の時代	国立歴史民俗博物館
死絵	国立歴史民俗博物館
国立歴史民俗博物館 要覧	国立歴史民俗博物館
アジアの境界を越えて	国立歴史民俗博物館
武士とはなにか	国立歴史民俗博物館
考古学ってなに？	横浜市歴史博物館
古墳時代の生活革命	横浜市歴史博物館
江戸時代の神奈川	横浜市歴史博物館
開港場・横浜の風景	横浜市歴史博物館
ペリー来航と横浜開港	横浜市歴史博物館
陸の道と海の道の交差点	横浜市歴史博物館
古代の役所と地域社会	横浜市歴史博物館
ふしぎな縄文土器	大田区立郷土博物館
那須のゆりがねー産金の歴史ー	栃木県教育委員会・栃木県立なす風土記の丘資料館
ムラから見た古墳時代Ⅱ	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
日本海の至宝	新潟県立歴史博物館
壊されるモノー土偶・関坊・石皿からみた縄文の祭祀ー	十日町市博物館
立山・富士山・白山みつの山めぐり	富山県〔立山博物館〕

越中と美濃を結ぶ考古展 交流のはじまり	富山市教育委員会 埋蔵文化財センター
発掘された女性の系譜—女性・子ども・家族の造形—	山梨県立考古博物館
導水施設と埴輪群像から見えてくるもの	滋賀県立安土城考古博物館
戦国の琵琶湖～近江の城の物語～	滋賀県立安土城考古博物館
室町最後の将軍—足利義昭と織田信長—	滋賀県立安土城考古博物館
映像文化の足跡～光学玩具から映画まで～	南丹市立文化博物館
大丹波展—豪族たちの栄華	京都府立丹後郷土資料館
継体大王の時代	大阪府立近つ飛鳥博物館
鉄とヤマト王権	大阪府立近つ飛鳥博物館
歴史発掘 おおさか	大阪府立近つ飛鳥博物館
もの・ワザ・情報—古の匠に挑む—	元興寺
櫻井の横穴式石室を訪ねて	財)桜井市文化財協会
越中と大和 ふたつの二山上	香芝市教育委員会・香芝市二上山博物館
第62回 正倉院展	奈良国立博物館
おん祭と春日信仰の美術	奈良国立博物館
いのりのかたち—祈願の民具と民間信仰—	和歌山県立紀伊風土記の丘
よみがえる和歌山の縄文世界	和歌山市立博物館
歌舞伎と文楽の世界—愛媛の伝統芸能—	愛媛県歴史文化博物館
伊予の城めぐり—近世城郭の誕生—	愛媛県歴史文化博物館
幕末維新土佐庶民生活誌	高知県立歴史民俗資料館
「もったいない」の考古学	下関市立考古博物館
成田コレクション考古資料図録	弘前大学人文学部付属 亀ヶ岡文化研究センター
モノが歴史を語りだす!	東北学院大学博物館

紀 要

名 称	発 行 者
浦幌町立博物館紀要 第10号	浦幌町立博物館
青森県立郷土館研究紀要 第34号	青森県立郷土館
岩手県立博物館研究報告 第27号	岩手県立博物館
一関市博物館研究報告 第13号	一関市博物館
北上市立埋蔵文化財センター紀要 第4号	北上市立埋蔵文化財センター
北上市立博物館研究報告 第17号	北上市立博物館
秋田県立博物館研究報告 第35号	秋田県立博物館
秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第24号	秋田県埋蔵文化財センター
東北歴史博物館研究紀要11	東北歴史博物館
地底の森ミュージアム・縄文の森研究報告2009	仙台市教育委員会・仙台市市民文化事業団・仙台市富沢遺跡保存館
山形市文化振興事業団紀要 第12号	財)山形市文化振興事業団
研究紀要2008・2009	福島県文化財センター白河館(まほろん)
書陵部紀要 第60・61号	宮内庁書陵部
書陵部紀要 第61号(陵墓篇)	宮内庁書陵部
東京国立博物館紀要 第45号	東京国立博物館
MUSEUM No.622～624	東京国立博物館
横浜市立博物館紀要 第14号	横浜市立博物館
横浜市歴史博物館調査研究報告 第5号	横浜市歴史博物館
松戸市立博物館紀要 第17号	松戸市立博物館
貝塚博物館紀要 第36・37号	千葉市立加曾利貝塚博物館
埼玉県立史跡の博物館紀要 第4号	埼玉県立さきたま史跡の博物館・埼玉県立嵐山史跡の博物館
研究紀要 第18号	とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター

土浦市立博物館紀要 第20号	土浦市立博物館
研究紀要28	群馬県埋蔵文化財調査事業団
新潟県立歴史博物館研究紀要 第10・11号	新潟県立歴史博物館
研究紀要 第17号	富山県 [立山博物館]
研究紀要 金沢城研究 第8号	石川県金沢城調査研究所
長野県立歴史館 研究紀要 第16号	長野県立歴史館
岐阜県博物館調査研究報告 第31号	岐阜県博物館
紀要 第18号	滋賀県立安土城考古博物館
研究紀要 第14号	下関市立考古博物館
愛媛県歴史文化博物館研究紀要 第15号	愛媛県歴史文化博物館
大分県立歴史博物館 研究紀要11	大分県立歴史博物館
「装飾古墳石室内での温室度、彩色の見えを対象としたモニタリングシステムの構築」研究報告書	熊本県立装飾古墳館
宮崎県立西都原考古博物館 研究紀要 第6号	宮崎県立西都原考古博物館
宮崎県総合博物館研究紀要 第30輯	宮崎県総合博物館
東北芸術工科大学紀要 No17	東北芸術工科大学
歴史遺産研究 No5	東北芸術工科大学 芸術学部歴史遺産学科
山形県高島町押出遺跡出土クッキ状炭化物分析結果報告書	東北芸術工科大学東北文化研究センター
「地域文化遺産の循環型保存・活用システムに関する総合的研究」研究成果報告書	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター
明治大学博物館研究報告 第15号	明治大学博物館
早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要 第11号	早稲田大学會津八一記念博物館
國學院大學博物館學紀要 第34輯	國學院大學博物館学研究室
大手前大学史学研究所紀要 第8号	大手前大学史学研究所
国際縄文学協会紀要 第3号	国際縄文学協会

報告書

名 称	発 行 者
宮島1砂金採掘跡 今金町文化財調査報告6	今金町教育委員会
青森県遺跡詳細分布調査報告書22 他1 青森県埋蔵文化財調査報告書 第493、494集	青森県教育委員会
市内遺跡発掘調査報告書18 他3 青森市埋蔵文化財調査報告書 第103～106集	青森市教育委員会
山王坊遺跡 五所川原市埋蔵文化財調査報告書 第31集	青森県五所川原市教育委員会
柳之御所遺跡 第69次発掘調査概報 他1 岩手県文化財調査報告書 第130、131集	岩手県教育委員会
金附遺跡発掘調査報告書 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第482集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
史跡 盛岡城跡Ⅱ 他1	盛岡市教育委員会・盛岡市遺跡学びの館
藤沢遺跡Ⅳ 他10 北上市埋蔵文化財調査報告書 第28、88、90、⑨3～100集	北上市教育委員会
袖野Ⅰ遺跡 陸前高田市文化財調査報告書 第28集	陸前高田市教育委員会
志羅山遺跡第69・71次発掘調査報告書 他3 岩手県平泉町文化財調査報告書 第71、76、78、104集	平泉町教育委員会
平成20・21年度 町内遺跡発掘調査報告書 一戸町文化財調査報告書 第66集	一戸町教育委員会
堂ノ沢遺跡 他11 秋田県文化財調査報告書 第449～459、464集	秋田県教育委員会・秋田県埋蔵文化財センター
鍛冶沢遺跡ほか 他3 宮城県文化財調査報告書 第222～225集	宮城県教育委員会
多賀城跡 政庁跡 補遺編	宮城県教育委員会・多賀城跡調査研究所

日の出山窯跡群Ⅱ 多賀城関連遺跡発掘調査報告書 第35冊	宮城県多賀城跡調査研究所
郡山遺跡第144次調査 他1 仙台市文化財調査報告書 第358、359集	仙台市教育委員会
化粧坂遺跡 他1 美里町文化財調査報告書 第5、6集	美里町教育委員会
戸ノ内遺跡 他1 蔵王町文化財調査報告書 第8、9集	蔵王町教育委員会
分布調査報告書(36) 他1 山形県埋蔵文化財調査報告書 第212、213集	山形県教育委員会
下大曾根遺跡 他9 山形県埋蔵文化財センター調査報告書 第182～191集	山形県埋蔵文化財センター
飯塚2遺跡 山形県山形市埋蔵文化財調査報告書 第31集	山形市教育委員会
市内遺跡分布調査報告書(11) 山形県鶴岡市埋蔵文化財調査報告書 第28集	山形県鶴岡市教育委員会
西原C遺跡 村山市埋蔵文化財調査報告書 第4集	村山市教育委員会
寒河江市内遺跡発掘調査報告書(16) 山形県寒河江市埋蔵文化財調査報告書 第32集	山形県寒河江市教育委員会
米沢城「本丸跡」発掘調査報告書 他2 米沢市埋蔵文化財調査報告書 第97～99集	米沢市教育委員会
市内遺跡発掘調査報告書(18) 山形県長井市埋蔵文化財調査報告書 第30集	長井市教育委員会
小山崎遺跡 第16次発掘調査報告書 遊佐町埋蔵文化財調査報告書 第9集	山形県遊佐町教育委員会
白鷹町石造文化財調査報告書	白鷹町教育委員会
郡山市埋蔵文化財分布調査報告15 他4	福島県郡山市教育委員会
根岸遺跡(第12次) 他2 いわき市埋蔵文化財調査報告 第140、142、143冊	いわき市教育委員会
阿津賀志山防塁史跡指定調査概報2・他 国見町文化財調査報告 第17集	国見町教育委員会
沖船場遺跡発掘調査報告書 他1 桑折町埋蔵文化財調査報告書22、23	桑折町教育委員会
合張遺跡 榎葉町文化財調査報告書 第18集	榎葉町教育委員会
武蔵国分寺跡関連遺跡・武蔵台遺跡 他14 東京都埋蔵文化財センター調査報告 第239～253集	東京都埋蔵文化財センター
上吹入・林古墳群 芝山町埋蔵文化財調査報告書 第1集	芝山町教育委員会
町内遺跡4 吉見町埋蔵文化財調査報告書 第8集	吉見町教育委員会
道上遺跡	群馬県教育委員会
上武道路・旧石器時代遺跡群(2) 他34 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第478、480～513集	群馬県埋蔵文化財調査事業団
栃木県埋蔵文化財保護行政年報32 他4 栃木県埋蔵文化財調査報告書 第327～331集	栃木県教育委員会
谷地遺跡 八太郎遺跡 田屋道遺跡Ⅱ 宮の越遺跡Ⅱ 他10 新潟県埋蔵文化財調査報告書 第193、205、208～213、215、216、218集	新潟県教育委員会
真萩田遺跡・貝野大道下遺跡発掘調査報告書 他1 十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書 第41、42集	十日町市教育委員会
宝童寺遺跡群 他7 柏崎市埋蔵文化財発掘調査報告書 第55～62集	柏崎市教育委員会
屋敷の平遺跡群 他1 津南町文化財報告 第54、55輯	津南町教育委員会
山梨県史跡 勝山城跡 勝山城跡学術調査報告書	都留市教育委員会
十里遺跡 他11	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課
青谷上寺地遺跡11 鳥取県埋蔵文化財センター調査報告31	鳥取県埋蔵文化財センター
佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書 他14 佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第42～56集	佐賀市教育委員会
物見処遺跡2003～2006 國學院大學文学部考古学実習報告 第38～41集	國學院大學文学部考古学研究室

南山城の古代寺院 同志社大学歴史資料館調査研究報告 第9集	同志社大学歴史資料館
平安京右京二条三坊八町 花園大学考古学研究報告 第15冊	花園大学考古学研究室
遠藤打越・遠藤西谷遺跡	有明文化財研究所
忠生遺跡 A地区(Ⅱ)	忠生遺跡調査会

資料目録

名 称	発 行 者
盛岡の縄文時代草創期～早期の土器文化 資料集	盛岡市遺跡の学び館
平泉遺跡群考古資料精選Ⅱ 岩手県平泉町文化財調査報告書 第112集	平泉町教育委員会
横浜市歴史博物館資料目録 第18集	横浜市歴史博物館
山崎光子民俗服飾コレクション	新潟県立歴史博物館
金沢城跡石垣修築工事報告書 金沢城史料叢書10	石川県金沢城調査研究所
金沢城の三御門 金沢城史料叢書11	石川県金沢城調査研究所
長野県立歴史館収蔵文書目録9	長野県立歴史館
穴澤啄光氏寄贈東洋考古学資料目録	早稲田大学會津八一記念博物館
成田彦栄氏旧蔵図書目録	弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター

学 術

名 称	発 行 者
山形考古 第9巻 第1号・第2号	山形考古学会
さあべい 第26号	さあべい同人会
季刊 東北学 第二十二～二十六号	東北芸術工科大学 東北文化研究センター
真澄学 第六号	東北芸術工科大学 東北文化研究センター
羽陽文化 第154号	山形県文化財保護協会
うきたむ考古 13号、14号	うきたむ考古の会

単行本

名 称	発 行 者
分析化学と歴史学 歴史研究の最前線 Vol. 12	国立歴史民俗博物館
縄文はいつから!?	国立歴史民俗博物館
弥生興亡 女王・卑弥呼の登場	朝文英社・石野博信
縄文の漆 ものが語る歴史シリーズ20	朝同成社・岡村道雄
観る光らず山形 遊学館ボックス	山形県生涯学習文化財団
縄文人の世界	朝角川学芸出版・梅原猛

9. 利 用 案 内

- ◆ 交通案内 JR高島駅よりタクシーで15分
JR高島駅より自転車で40分
*高島駅にレンタサイクルがあり、「まほろばの緑道」のサイクリング道があります
- ◆ 開館時間 AM9:00~PM4:30
- ◆ 休館日 月曜日、国民の祝日（こどもの日と文化の日は無料で開館します）
年末年始（12月28日～1月4日）
大型連休中は、臨時開館の場合があります
燻蒸作業のため臨時休館の場合があります
- ◆ 入館料金 一般200円（150円）、学生100円（70円）、高校生以下無料
（ ）は20名様以上の団体料金
- ◆ 入館料の減免 次の基準により減免（無料入館）します
 1. こどもの日・文化の日・その他、教育委員会が指定する日において資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する。
 2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、次の各号の一つに該当する者とする。
 - (1) 教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
 - (2) その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者

*上記の2つの入館料の減免を受けようとする方は、入館料減免申請書を考古資料館に提出してください。尚、詳細については、当館にお問い合わせください。
 - (3) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳の交付を受けている者、その付添い人
- ◆ 収蔵図書の利用
資料館に収蔵されている図書（県内等の報告書、各地特別展図録、体験学習資料他）の閲覧等利用することが出来ます。図版や写真の多い資料もございますので、是非ご利用ください。利用時間、休館は考古資料館と同様です。
詳しくは事務室までお問い合わせください。

考古資料館利用の手引き

考古資料館では、小学生から社会人の方までを対象とした様々な学習活動のお手伝いをしております。ご希望の際は、下記項目及び後記打合せ書をご参考に、当館まで事前にご相談ください。
(ただし、諸般の事情によりご希望に添えない場合もございます)

- ◆ **展 示 説 明** 当館職員が展示を説明します。また、実物の資料・復元品に触れたり、収蔵しているパネルを使ってのご説明もいたします。
- ◆ **歴史公園を歩く** 当館を含む「まほろば古の里歴史公園」内には、復元された古墳や竪穴式住居、古代米の棚田などが整備されており、こちらをご案内します。
- ◆ **遺 跡 案 内** 当館周辺には、日向洞窟（国史跡）や清水前古墳、金原古墳など多くの遺跡があります。こちらを現地でご案内します。
- ◆ **体 験 学 習** 古代の技術を体験し、当時の人々の生活を学ぶこともできます（メニュー参照）。その他に体験したいことがございましたら、ご相談に応じます。

メニュー	内 容	所要時間	人 数	材料費
勾玉づくり	滑石という柔らかい石で勾玉を作ります。	2時間	40名	200円
火おこし	ひもぎり式という摩擦を利用した古代以来の方法で、火を起こします。	30分	30名	無料
弓矢づくり	竹を利用して、弓矢を作ります。	1時間	10名	200円
土器・土偶・土笛 づくり	市販の粘土を野焼き用に調整し、形を作り、縄文の模様などをつけて、野焼きします。	延べ2日 (成形日・ 野焼き日)	20名	500円
編布（あんぎん） づくり	古代以来の編み具を使って、10cm四方の程度の編み布（コースター）を作ります。	2時間	10名	200円

(目安として)

*学校団体等で行う体験事業（勾玉・弓矢をつくろう、編布をつくろう）の場合は、上記の材料費（参加費）とは異なる場合があります

県立考古資料館利用打ち合わせ書

この度は、当館をご利用いただきましてありがとうございます。当館の利用につきまして、下記の打ち合わせ書を当館までいただきますよう、よろしくおねがいたします。

利 用 団 体			
学 年	年	引率者・代表者	
人 数	大人 名 小人 名		
日時・所要時間	月	日	: ~ :
実 施 内 容	遠足・社会科見学・総合的な学習・クラブ活動・親子行事・PTA行事・その他（ ）		
来館のねらい			
説 明	館内・歴史公園・近隣史跡（日向洞窟・金原古墳ほか）		
職員の説明の際に 強調を希望する点	無・有（旧石器・縄文・弥生・古墳・古代中世・ 学校近辺の遺跡・当館周辺の遺跡・洞窟遺跡・押出遺跡）		
使いたい資料	無・有（実物・パネル等・復元縄文衣服） その他 { }		
研 修 室 利 用	希望しない・希望する（学習のため・雨天時の昼食のため）		
利用に当たって 希望すること （体験学習等）	体験：勾玉作り・火おこし等		
交 通 手 段	貸切バス・路線バス・自家用車・レンタサイクル・徒歩・ その他（ ）		
当日に利用する 他の施設・史跡等			

*総合学習でご利用いただく場合は、これまでの経過・ご利用になった他の施設・機関等をお教え下さい。日程表・開催概要等がございましたら、こちらも送付下さい。

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 〒992-0302 東置賜郡高畠町大字安久津2117
TEL 0238 - 52 - 2585 FAX 0238 - 52 - 4665

10. 条例・規則（抜粋）

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館条例

平成5年3月26日

山形県条例第27号

改正〔平成17年3月22日条例第60号〕

（設置）

第1条 本県にとって歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行い、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館（以下「資料館」という。）を東置賜郡高畠町に置く。

（入館料の徴収等）

第2条 県は、第4条の規定により法人その他の団体であつて教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）が資料館の管理を行う場合を除き、資料館に入館しようとする者から入館料を徴収する。

2 入館料の額は、別表のとおりとする。

一部改正〔平成17年条例60号〕

（入館料の免除）

第3条 知事は、公益上特に必要があると認めるときは、入館料の全部又は一部を免除することができる。

（指定管理者）

第4条 資料館の設置の目的を効果的に達成するため、その管理を指定管理者に行わせることができる。

一部改正〔平成17年条例60号〕

（指定管理者が行う管理の基準）

第5条 指定管理者は、次に掲げる基準に従い、資料館の管理を行うものとする。

（1）1日当たりの開館時間は、午前9時から午後7時までの範囲内で、7時間以上とすること。

（2）休館日は、次に掲げる日とすること。ただし、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第2条に規定するこどもの日及び文化の日は、休館日としないこと。

イ 月曜日から金曜日までのいずれか特定の曜日

ロ イに掲げる日のほか、日曜日及び土曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日又は12月28日から翌年の1月4日までの日に当たる日を除く。）以外の日のうち、年間15日以内の日

（3）その他資料館の管理上教育委員会が必要と認める基準

2 指定管理者は、前項第1号及び第2号の基準の範囲内で、あらかじめ教育委員会の承認を受けて資料館の開館時間及び休館日を定めるものとする。

3 教育委員会は、前項の承認をしたときは、速やかに当該承認をした開館時間及び休館日を公示するものとする。

4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要と認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けて臨時に資料館を開館し、又は休館することができる。

追加〔平成17年条例60号〕

（指定管理者が行う業務の範囲）

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

（1）資料館の施設等の維持管理に関する業務

（2）資料館の運営に関する業務

(3) 前2号に掲げるもののほか、資料館の管理に関し教育委員会が必要と認める業務

追加〔平成17年条例60号〕

(利用料金)

第7条 第4条の規定により資料館の管理を指定管理者が行う場合にあっては、資料館に入館しようとする者は、資料館の入館に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、第2条第1項の入館料の額の範囲内において、あらかじめ知事の承認を受けて、指定管理者が定めるものとする。

3 知事は、前項の承認をしたときは、速やかに当該承認をした利用料金を公示するものとする。

4 指定管理者は、利用料金を自己の収入として収受するものとする。

追加〔平成17年条例60号〕

(利用料金の免除)

第8条 指定管理者は、あらかじめ知事の承認を受けた基準により、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

追加〔平成17年条例60号〕

(委任)

第9条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

旧5条繰下〔平成17年条例60号〕

附 則

この条例は、平成5年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月22日条例第60号）

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

2 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館の管理を法人その他の団体であって教育委員会が指定するものに行わせるために必要な行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

別表

区 分		入館料の額
個 人	大学の学生及びこれに準ずる者	100円
	学齢に達しない者、小学校の児童、中学校又は高等学校の生徒及びこれらに準ずる者並びにこれらの者を引率する教員	無料
	身体障害者手帳の交付を受けた者、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者及び療育手帳の交付を受けた者並びにこれらの者が観覧するために必要と認められる付添人	無料
	上記以外の者	200円
団 体 (20人以上のものに限る。)	大学の学生及びこれに準ずる者	1人につき 70円
	学齢に達しない者、小学校の児童、中学校又は高等学校の生徒及びこれらに準ずる者並びにこれらの者を引率する教員	無料
	身体障害者手帳の交付を受けた者、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者及び療育手帳の交付を受けた者並びにこれらの者が観覧するために必要と認められる付添人	無料
	上記以外の者	1人につき 150円

全部改正〔平成17年条例60号〕

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館条例施行規則

平成5年3月30日

山形県教育委員会規則第2号

改正 平成17年10月28日教委規則第15号 平成18年3月24日教委規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館条例（平成5年3月県条例第27号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館（以下「資料館」という。）の開館時間は、条例第4条の規定により指定管理者が管理を行う場合を除き、午前9時から午後4時30分までとする。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

一部改正〔平成17年教委規則15号・18年5号〕

(休館日)

第3条 資料館の休館日は、条例第4条の規定により指定管理者が管理を行う場合を除き、次のとおりとする。

(1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（こどもの日及び文化の日を除く。）

(2) 月曜日（月曜日が前号のこどもの日又は文化の日であるときは、その翌日）

(3) 12月28日から翌年の1月4日までの日（前2号に掲げる日を除く。）

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日を変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

一部改正〔平成18年教委規則5号〕

(入館の手続)

第4条 資料館の資料を観覧するため入館しようとする者は、受付において、所定の入館料（条例第4条の規定により指定管理者が管理を行う場合にあっては、資料館の入館に係る料金）を納めて別記様式による入館券の交付を受けなければならない。

一部改正〔平成18年教委規則5号〕

(入館の規制)

第5条 教育委員会は、この規則に基づく定め若しくは教育委員会の指示に従わない者又は資料館に入館する者としてふさわしくない行為を行うおそれがあると認められる者に対しては、資料館の利用を拒み、又は退館を命じることができる。

(損害の賠償)

第6条 資料館に入館した者は、故意又は過失により資料館の施設、設備、資料等をき損したときは、それらを原状に復し、又はそのき損による損害を賠償しなければならない。

(委任)

第7条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則（平成17年10月28日教委規則第15号）

この規則は、平成17年11月1日から施行する。

附 則（平成18年3月24日教委規則第5号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館資料寄託・借用要領

この要領は、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館（以下「本館」という。）において、資料の寄託をうける（以下「受託」という。）とき、及び本館が寄託を依頼するとき並びに資料を借用するときの事務手続きに関し、必要な事項を定めることを目的とする。

I 寄託申込みと資料の取扱い

1. 本館に資料の寄託を希望する者は、資料寄託申込書（別記様式第1号）を、原則として寄託希望日の10日前までに山形県教育庁文化財保護推進課長（以下「県文化財保護推進課長」という。）に提出しなければならない。
2. 資料の寄託については、概ね次の条件を満たしていると認めるときは、県文化財保護推進課長はこれを承諾し、寄託申請者に資料受託承諾書（別記様式第2号）を発行する。
 - (1) 資料としての価値が高いこと。
 - (2) 資料の受託が、本館の活動に有益であること。
 - (3) 資料の保存状況が、本館の収蔵に耐えること。
3. 資料の受託期間は、原則として3ヶ年とするが、期間の更新ができるものとする。
4. 資料の受託は無償とするが、資料の搬入及び搬出に係る費用は寄託申請者の負担とする。
5. 資料の本館への搬入及び搬出は、担当学芸員と寄託申請者が資料の状況を確認の上で行うものとする。
6. 県文化財保護推進課長は、受託の際に資料受託書（別記様式第3号）を寄託申請者に発行する。
7. 寄託者が資料の返却を受けたときは、資料受託書を県文化財保護推進課長に返戻しなければならない。
8. 受託期間中の寄託資料の使用については、本館所蔵資料と同等に扱うものとする。但し、貸出しにあたっては、寄託者と県文化財保護推進課長と借用希望者の三者が協議して決定するものとする。
9. 受託期間中に、本館の責任において資料を破損又は亡失した場合には、修復等に係る必要な経費を県文化財保護推進課長と寄託者が協議のうえに決定し、本館がこれを負担するものとする。但し、天災その他の不可抗力による場合はこの限りでない。
10. 寄託者が寄託期間を引続き更新しようとするときは、新たに寄託申請の手続きをとらなければならない。
11. 前各項に定めのない事態が発生したときは、県文化財保護推進課長と寄託者が協議のうえ、決定するものとする。
12. 寄託資料の内容は、本館の資料担当職員が資料受託簿（別記様式第4号）に記入する。

II 寄託依頼と資料の取扱い

1. 資料の所蔵者に、本館が寄託の依頼をするときは、県文化財保護推進課長は資料寄託依頼書（別記様式第5号）によって承諾を得るものとする。
2. 資料の受託は無償とし、資料の搬入及び搬出に係る経費は、本館が負担する。
3. 本館が受託期間を更新しようとするときは、県文化財保護推進課長はあらかじめ受託期間更新依頼書（別記様式第6号）によって寄託者の承諾を得なければならない。なお、資料受託書（別記様式第3号）は更新のたびに発行するものとする。
4. 前1項及び3項にいう承諾は、資料寄託承諾書（別記様式第7号）によって行うものとする。
5. 前各4項に定めるもののほか、寄託依頼に関し、必要な事項はIに定める資料の取扱いを準用するものとする。

III 借用依頼と資料の取扱い

1. 資料の所蔵者に、本館が借用の依頼をするときは、県文化財保護推進課長は資料借用依頼書（別記様式第8号）によって承諾を得るものとする。
2. 資料の借用は無償とし、資料の搬入及び搬出に係る経費は、本館が負担する。
3. 本館が借用期間を更新しようとするときは、県文化財保護推進課長はあらかじめ貸与期間更新依頼書（別記様式第9号）によって貸与者の承諾を得なければならない。
4. 県文化財保護推進課長は、借用の際に資料借用書（別記様式第10号）を貸与者に発行する。（借用期間の更新の場合も含む。）
5. 借用資料の内容は、本館の資料担当職員が資料借用簿（別記様式第11号）に記入する。
6. 前1項及び3項にいう承諾は、資料借用承諾書（別記様式第12号）によって行うものとする。
7. 前各6項に定めるもののほか、借用依頼に関し、必要な事項はIに定める資料の取扱いを準用するものとする。

押出遺跡出土に係る彩漆土器資料（国所有・国指定重要文化財）等 出土品の貸出しに関する取扱要項

（趣 旨）

第1条 この要綱は、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館（以下「当資料館」という。）が所蔵する「押出遺跡」出土に係る彩漆土器（国指定重要文化財）をはじめとする出土品（以下「出土品」という。）を将来にわたり 末長く保存活用するため、その貸出しの取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

（出土品の貸出し）

第2条 当資料館所蔵の出土品の貸出しは、学術又は教育事業の目的のため以外は許可しない。

- 2 出土品を複製するための貸出しは、原則として許可しない。
- 3 貸出しを受けようとする者は、貸出しを希望する日の90日前までに、当資料館に貸出しの申請をしなければならない。申請の手続きは、別途指示するところによる。
- 4 当資料館外への出土品の貸出し回数は、原則として同一の物につき同一年度中に2回以内とする。
- 5 貸出期間は、1回につき原則として60日以内とする。ただし、特に材質等の劣化のおそれのあるものについては、1回につき30日以内とする。
- 6 貸出しを受ける者（以下「借用者」という。）が出土品を保管又は展示する施設は、国指定重要文化財の保管若しくは展示の実績がある施設又はそれらに相当する施設であると当資料館が認めたものに限る。
- 7 借用者側の出土品を運搬及び保管する担当者は、原則として当該保管施設の業務に専従している学芸員でなければならない。
- 8 借用者が管理すべき温度・湿度等については、当資料館の指示に従うこと。
- 9 貸出しに係る出土品の運搬は、借用者において美術品搬送専用車で行うものとし、借用者側の担当者が全行程に立ち会わなければならない。
- 10 貸出し先での出土品の実測及び写真撮影、原則として許可しない。
- 11 借用者は、出土品を目的外に使用してはならない。また、第三者に貸出してはならない。

（その他）

第3条 借用者は、貸出しを受けた出土品を毀損しないよう十分な注意をもって取り扱い、当資料館の指示に従うこと。

- 2 当資料館の規則及び職員の指示に従わない場合は、いつでも貸出しの許可を取り消すことができる。許可を取り消されたときは、貸出した出土品を速やかに返却し、それに要する費用は借用者が負担しなければならない。
- 3 借用者が、当資料館の所蔵する資料を利用し出版物を刊行した場合は、当該出版物を2部以上当資料館に贈呈すること。

（疑義の決定）

第4条 この要綱に定めない事項及びこの要綱に疑義が生じた場合は、その都度当資料館と借用者が協議のうえ決定するものとする。

附 則

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

2010／年報

平成23年（2011年）3月31日 印刷・発行

編集発行 〒992-0302
山形県東置賜郡高島町大字安久津2117
山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
TEL 0238-52-2585
FAX 0238-52-4665

印刷 (株)芳文社よねざわ印刷

